

教材教具名	イラストと人形のマッチング	分類	Stage I 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングの数を増やし、集中する時間を長くする。 ・ 手元をよく見る習慣をつける。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真と同じ人形を選び入れ、少しずつ増やしていく。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソフトイ、ケース、人形の写真
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングを学習したいが、紙だと噛んでしまうことがあるため、教材の材質に工夫した。 ・ 子どもが好きなキャラクターを用いて学習意欲が上がるようにした。 ・ 写真を縦に貼ることで間違いに気づけるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 好きなキャラクターを用いることで手元をよく見るようになった。

教材教具名	イラストマッチング	分類	Stage I 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	自立活動 小学部
ねらい	・ イラストをマッチングさせることができる。			

教材教具の概要



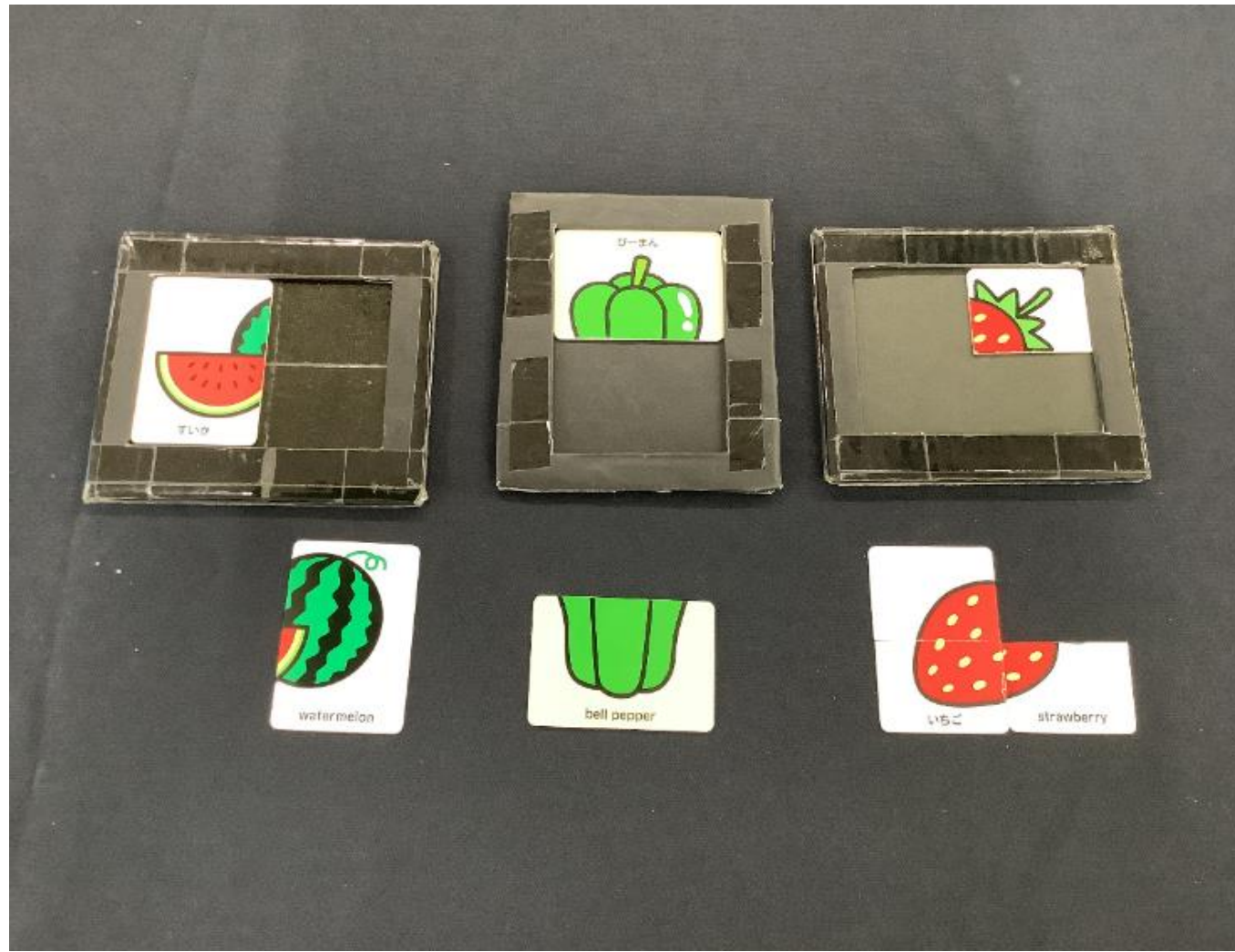
使用方法	・ 好きなキャラクターや乗り物などのイラストをマッチングさせ、名前を発声する。
材料	・ ジョイントマット、イラスト
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持ちやすいように厚みのあるジョイントマットを使用した。 ・ 子どもにとって興味のあるキャラクター・乗り物や日課のピクトグラムを使用した。 ・ イラストをはめ込み型にすることで最後まで見られるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 興味のあるキャラクターや乗り物を使用することで、意欲を持って取り組んでいた。

教材教具名	絵合わせパズル	分類	Stage I 認知		
		対象授業等 (内容) (学部)	国語	数学	個別課題
ねらい	・ 2片、4片のパズルを合わせることができる。				

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2片、4片のイラストカードを合わせてはめ込む。 ・ 枠に入れば、カードを細かく切ってもよい。
材料	・ 段ボール、黒い紙、透明テープ、イラストカード
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ イラストカードがちょうど良くはまるように枠を作った。 ・ イラストカードが見やすいように、黒で作成した。

使ってみてよかったところ、効果等

・ イラストカードを合わせて枠に入れるだけの単純な作業なので、ストレスなく取り組めていた。

教材教具名	マッチング教材	分類	Stage II 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵柄のマッチングができる。 ・ 一人で課題に取り組むことができる。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵柄や色を見て、マッチングをする。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットボトルキャップ、アクセサリケース、シール
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵、色、文字など様々な手掛かりがあるシールを使用した。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 空いている時間に、自立課題として一人で集中して取り組むことができていた。

教材教具名	視力検査練習セット	分類	Stage II 認知		
		対象授業等 (内容) (学部)	国語	算数	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視力検査をスムーズに受けられるようにする。 ・ 視力検査に慣れる。 				

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ (絵カード)マッチングをする。視力検査本番に示された絵と同じものを選ぶようにする。 ・ (ドーナツ)ランドルト環の検査の練習。ドーナツをランドルト環に見立て、「食べたのだれ?」と聞く。かじった跡の方向にいるキャラクターの名前を答えさせる。徐々にドーナツをランドルト環にしたり、キャラクターをいなくしたりしてランドルト環で視力検査ができるようにする。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙、ラミネートフィルム
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 眼科によって左右反転した絵カードを選ばなければいけないようで、絵カードは左右反転しているものを用意した。(通常は左右反転していないものを使ってもよいと思う。) ・ キャラクターは、子どもが好きなキャラクターを選び、やる気につながるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ マッチングが得意な子どもに使用したため、視力検査の絵カードに親しむことができ、視力検査当日も大きく混乱することがなかった。
- ・ キャラクターのカードは、子どもに親しみやすいキャラクターにしたため、やる気につながった。

教材教具名	名前カードマッチング	分類	Stage II 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	国語	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前に興味関心をもつ。 マッチングをして、発表できる場を設ける。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 型はめ方式で名前をマッチングする。 ホワイトボードに貼り、みんなの前で発表する。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ジョイントマット、コピー紙、強力磁石
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> マッチングする感覚がしっかり分かるように型はめ方式にした。 手立てとして苗字と名前のまとまりで分けた。 ホワイトボードに貼った時に落ちないように、強力磁石を使用した。

使ってみてよかったところ、効果等

- 苗字と名前のまとまりにすることで大きさの違いを理解して、マッチングの手立てとなった。
- 落としても扱いやすく、口に入れても衛生的にすぐ拭きとれる素材のため常時使用できた。
- 繰り返し取り組むことで、“マッチングをして貼る”という流れが一人でできるようになった。

教材教具名	曜日のマッチング	分類	Stage II 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	国語	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曜日の漢字のマッチングができる。 ・ 曜日の漢字を、正しい順に並べていくことができる。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上部の見本を見て、曜日の漢字を正しい順に並べていく。 ・ 見本を見ずに、曜日の漢字を正しい順に並べていく。完成したら、見本部分を開き、自分で答え合わせをする。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙ファイル、文字カード用紙、枠線となる用紙、ラミネートフィルム、両面ファスナー
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見本を見ながら並べていくやり方と、見本を見ずに並べるやり方の、どちらもできるようにした。 ・ ファイルを開けば、すぐに答えと照らし合わせることができるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ ちょっとした空き時間に、子どもが一人でパズル感覚で取り組んでいた。

教材教具名	色と名詞の学習	分類	Stage Ⅲ-1 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 言葉で示された「色+名詞」がわかる。 色+名詞の発語を促す。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 複数のイラストカードから、言葉で示されたカード(色+名詞 例:赤いバス)を見つけて、台紙の枠の中に貼る。 はじめは言葉で示すとともに「色+もの」の線画カードを台紙の上の枠の中に貼って示す。徐々に言葉のみにしていく。
材料	<ul style="list-style-type: none"> クリアケース、カード、両面ファスナー、カード
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> 教材をひとまとめに管理しやすいように、カードを貼る土台部分をクリアケースにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- カードを探すことと発声を同時にさせることで、楽しみながら発声し、発語の広がりにつながった。

教材教具名	電動シュレッダーの応用	分類	Stage Ⅲ-1 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	国語	数学 高等部
ねらい	・ 学習への意欲を引き出す。			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 紙に数字を書きおき、指定された紙をシュレッダーにかける。 紙に文字を書きおき、指定された文字の紙をシュレッダーにかける。 紙に言葉を書きおいて教員が読み上げた言葉の紙をシュレッダーにかける。
材料	・ 電動シュレッダー、紙
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> シュレッダーは生徒の関心が高く、モチベーションを高めるので、集中力を高めることができる。 電動シュレッダーは2500円程度で入手でき、USBバッテリー、ACアダプター、乾電池で駆動できるので、シンプルにしたいときは乾電池を使用した。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 様々な題材に応用することができる。

教材教具名	1～5までの数量	分類	Stage III-1 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	・ 1～5までの数量を理解することができる。			

教材教具の概要



使用方法	・ 書いてある数字を見て、その数ぶんイラストカードを貼る。
材料	・ A5サイズ2つ穴リングファイル、台紙カード、イラストカード
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台紙カードの順番を自由に変えられるようにした。最初は台紙カードを1から順に並べておき、慣れてきたらランダムにする等、レベルを変えることができるようにした。 ・ 1ページにつき1つの数字のみにすることで、視覚的に分かりやすくした。 ・ 自立課題としても活用できるよう、はじまりと終わりを分かりやすくした。

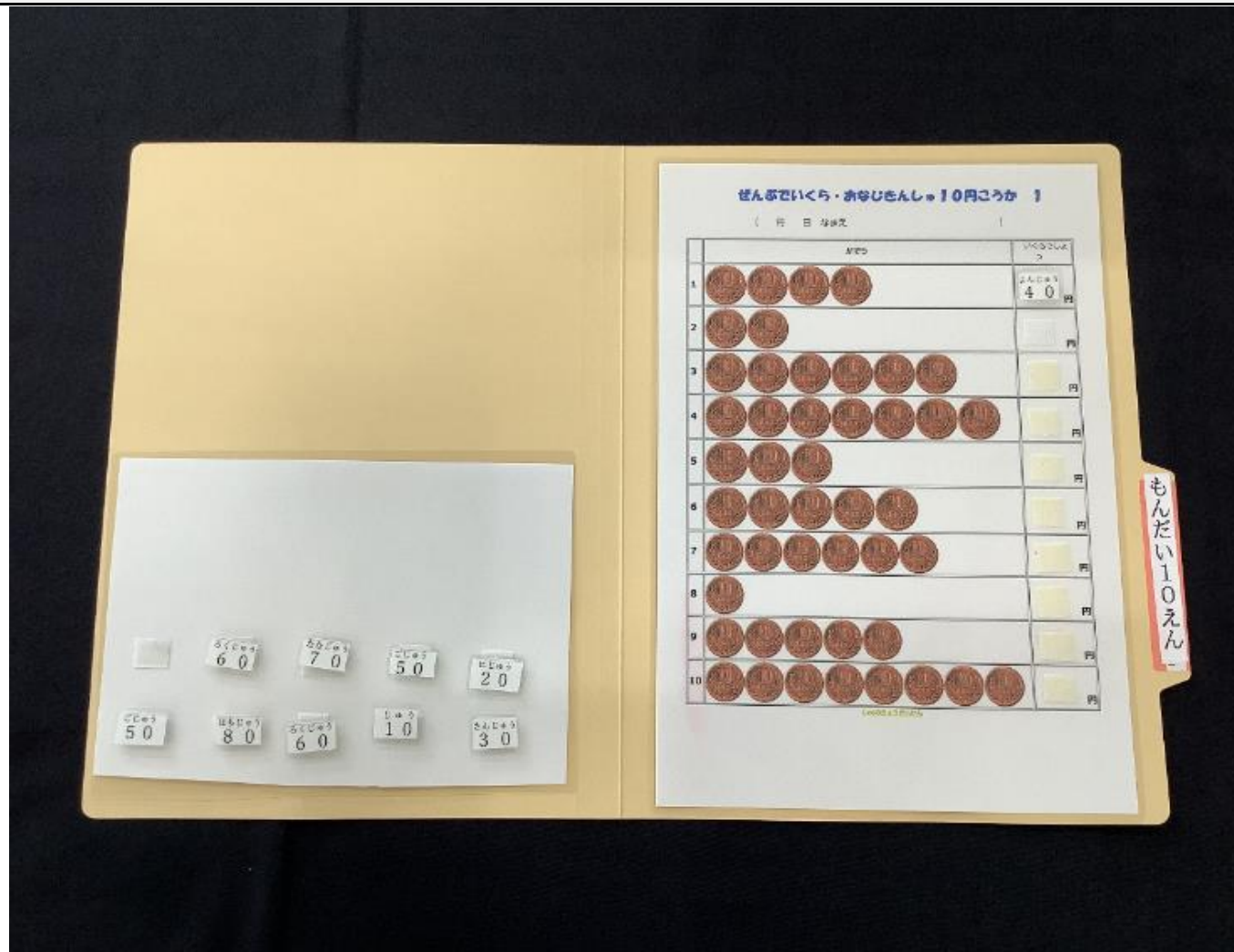
使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 1～10までの数字の読みと数唱はできるが、数量の理解がまだできていない子どものために作成した。
- ・ はじめは教員がやり方の手本を見せ、つぎに教員と一緒にイラストカードを指差しして数えて確認しながら貼った。繰り返し取り組むことで、対応した枚数を貼ることができるようになった。

令和5年度

教材教具名	お金の学習	分類	Stage Ⅲ-1 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	数学	高等部
ねらい	・ 10円、100円玉をぴったり出すことができる。			

教材教具の概要



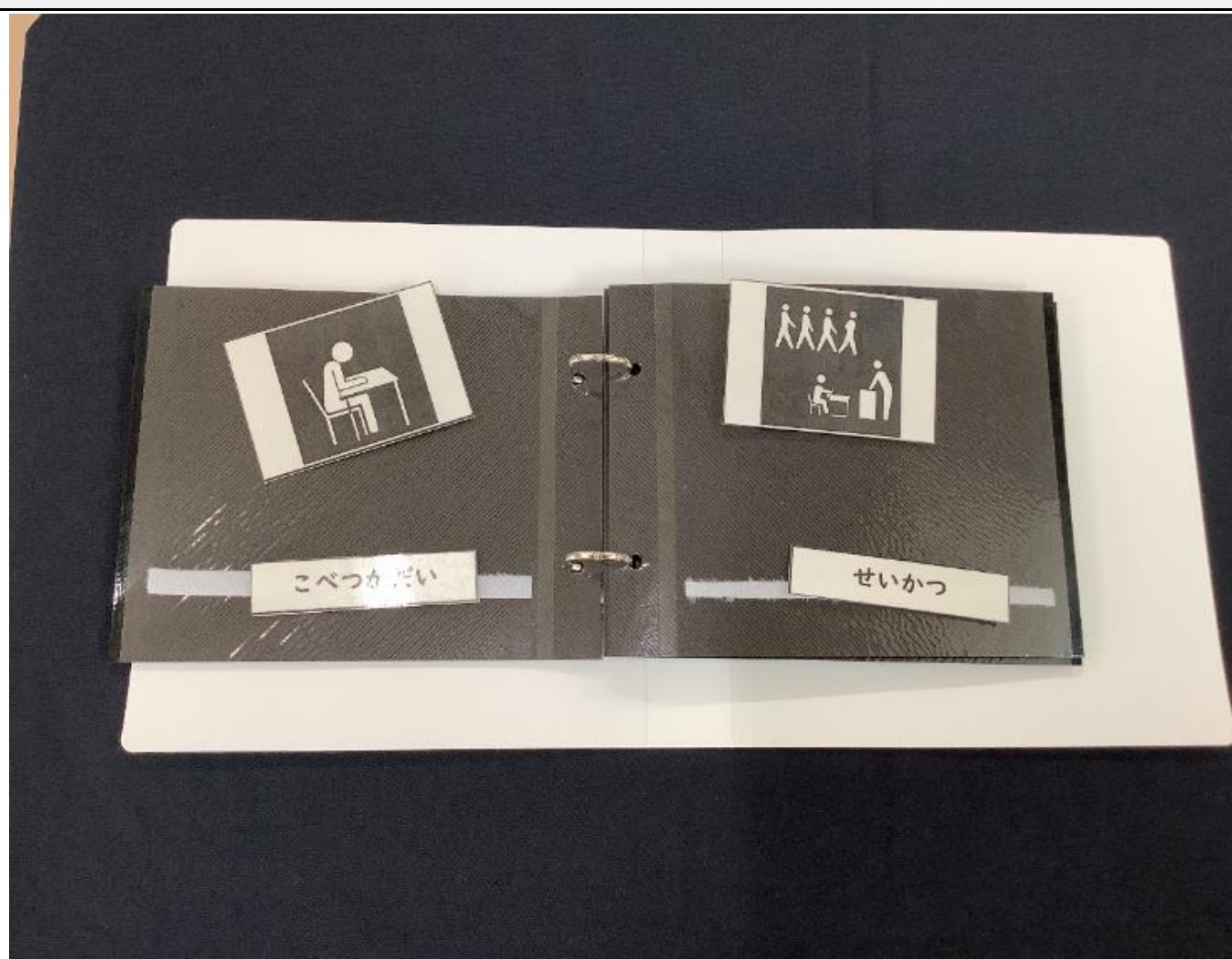
使用方法	・ 金種の学習からはじめ、10円を一枚から数える学習の後にこのシートで練習する。
材料	・ 紙ファイル、両面ファスナー、練習シート(Leeの教材館)
工夫点	・ ファイル形式にしたことで、自分で取り組みやすく、繰り返し取り組むことができるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 両面ファスナーで貼る方法は、達成感をもちやすく、進んで行う子どもが多い。

教材教具名	ピクトグラムと文字カードの マッチング	分類	Stage Ⅲ-1 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	国語	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見慣れている日課のピクトグラムから文字学習に取り組む。 ・ サイン等も用いて言葉や文字への興味を広げる。 ・ 教材を通して、ピクトグラムへの注目を高め、日課の見通しをもてるようにする。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ はじめにピクトグラムを貼り、サインをしてから一緒に文字カードを選ぶ。 ・ 悩んだ時は、ヒントとなるサインをする。 ・ 一人で行う時は、確認の際にサインと文字を一緒に確認しながら取り組む。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二つ穴リングファイル、両面ファスナー、2リングアルバム用台紙、ラミネートしたピクトグラムと文字カード
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組む量を調整できるように取り外しができるものにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ ピクトグラムをよく見るようになった。
- ・ 正答率が上がった。
- ・ 朝の会や帰りの会で以前よりもハッキリ教科名を言えるようになった。

教材教具名	数の分解	分類	Stage Ⅲ-2 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	・ 数の様々な分け方を知る			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全部でいくつあるかを数える。 ・ 枠の中にシールを貼り、子どもに「〇〇は何個？」という質問に答える。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラミネートフィルム、両面ファスナー
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもと家族に分けるという身近に考えられる内容にした。 ・ 子ども自身が好きな食べものを分けるものとして使用した。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 3、4、5と徐々に分ける数が増えていくため様々な数の分け方を知ることができた。
- ・ 子どもの身近なものなので、取り組みやすかった。

教材教具名	10本の棒の束の数	分類	Stage Ⅲ-2 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	算数	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチックの棒を輪ゴムで止めることができる。 ・ 10の束の数を数えることができる。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容器に入っているプラスチックの棒を10本ずつ数える。 ・ 10本ずつ数えた棒を輪ゴムで止め、紙コップに1束ずつ入れる。 ・ 全部で何本あるかイラストを見ながら数える。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙コップ、輪ゴム、緑のプラスチックの棒
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの好きな「ネギ」を使用した。 ・ 紙コップに10本と書き、視覚支援を増やした。 ・ 子どもと一緒に教材を作成した。

使ってみてよかったところ、効果等

・ 自分の好きなものに似ている教材であることや自分で作成したことで集中力が持続した。

教材教具名	ランチセットを注文しよう	分類	Stage Ⅲ-2 認知	
		対象授業等 (学部)	個別課題	自立活動 小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューの名称が分かる。(レベル1) ・金額の数字が読める。(レベル2) ・値段の高い安い分かる。(レベル3) ※ステージIV相当 			

教材教具の概要



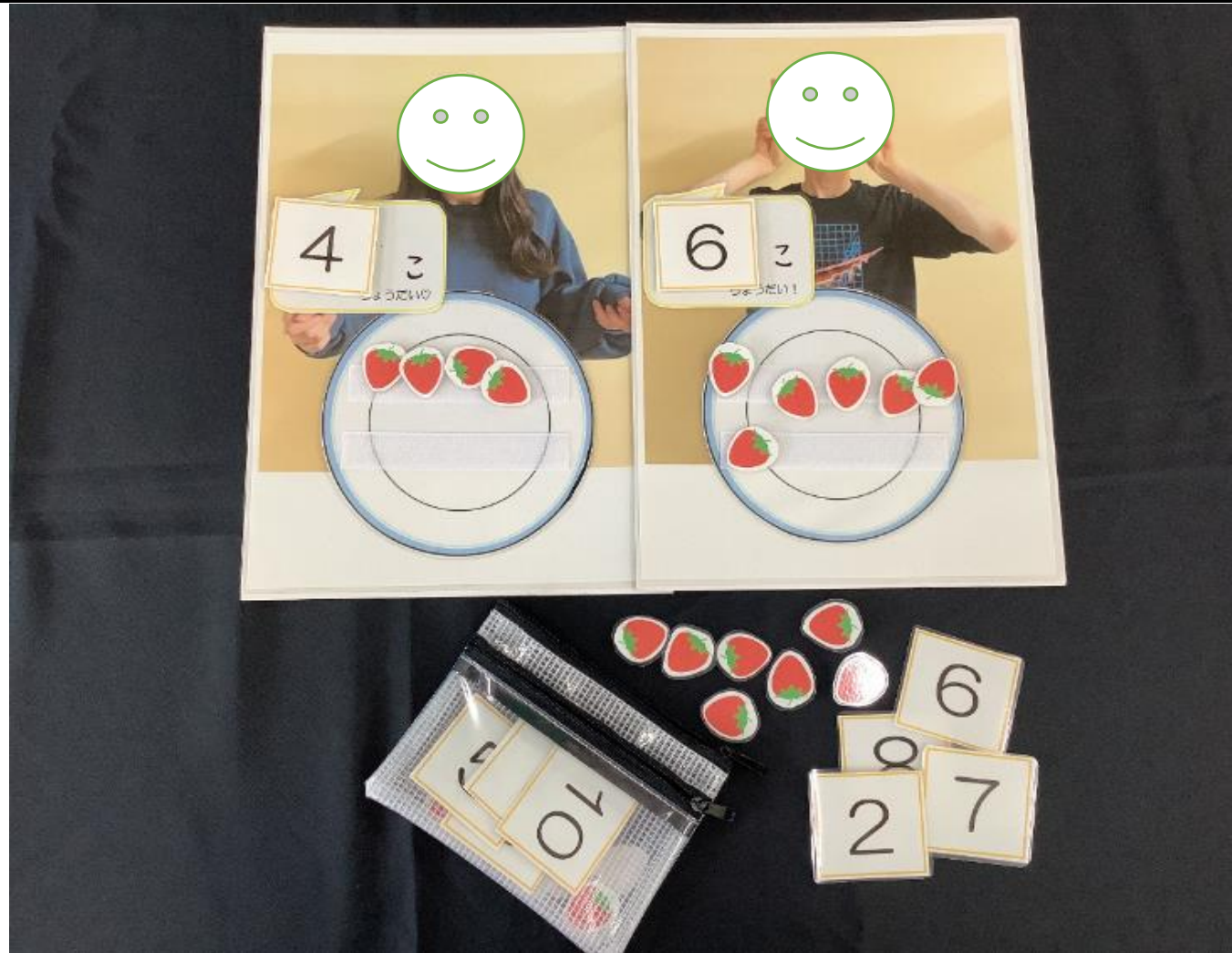
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員が読んだメニューの写真カードを選んで貼る。(Aタイプ) ・ メニューの写真を見て名称カードを選んで貼る。(Bタイプ) ・ メニューの金額を読む。 ・ 2つのメニューを見てどちらが高い(安い)か選ぶ。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラミネートフィルム、糊付面ファスナー(両面ファスナー)、バインダー
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ おかずのみのカードではなく、定食風にすることで目新しさを出した。 ・ ひとつの教材でレベル1から3までの応用ができるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 好きな食べ物の写真カードを見ることで課題へのモチベーションを高めることができた。
- ・ メニューにより値段が違うことを知り、金銭への興味が出てきた。

教材教具名	数字と実物の対応	分類	Stage Ⅲ-2 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	・ 数字と実際の物の数を対応させる練習をする。(1～10の数)			

教材教具の概要



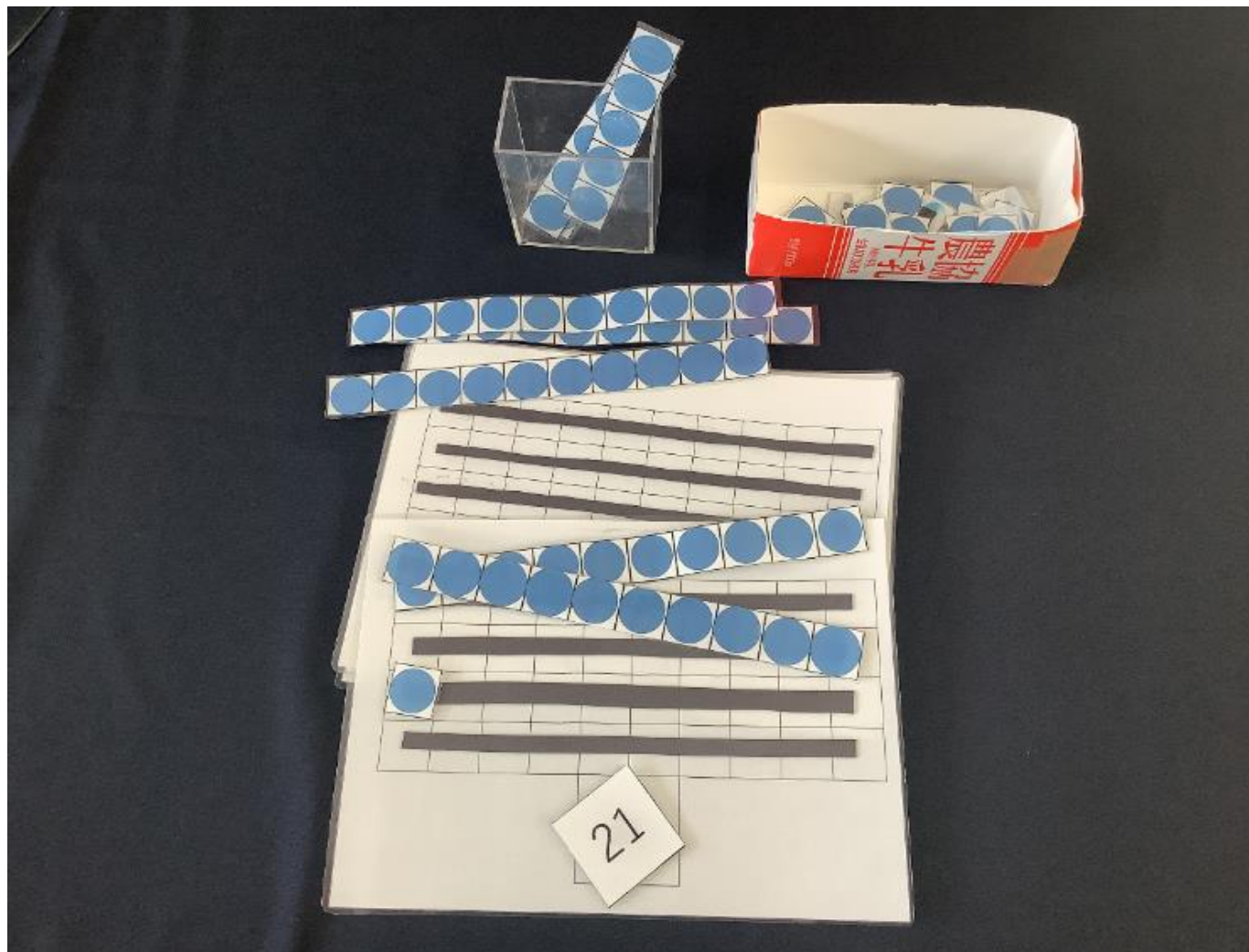
使用方法	・ 吹き出しに書かれている数字分、いちごをお皿におく。
材料	・ 厚紙、ラミネートフィルム、両面ファスナー
工夫点	・ 子どもが好きな先生の写真を使うことで意欲を引き出せるようにした。 ・ 毎回、数を変えられるようにしたことで、本人の様子を見ながらいろいろな数字と数を対応できるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 子どもが好きな先生の写真を使うことで、楽しく課題に取り組んだ。課題に繰り返し取り組むことで徐々に正確にいちごを置くことができた。
- ・ 子どもの様子次第で小さな数に戻せるのもよかった。

教材教具名	数のかたまりの学習	分類	Stage Ⅲ-2 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	数学	中学部
ねらい	・ 5・10ごとの数のかたまりを理解する。			

教材教具の概要



使用方法	・ 指定された数(10以上の数)を、1・5・10のブロックを使って表す。
材料	・ 紙、ラミネートフィルム、磁石
工夫点	・ 1・5・10のブロックを用意することで、数の成り立ち(17なら10と5と2)を理解できるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 成り立ちを理解することで、お金の学習を行う時に小銭を使った支払い方法をスムーズに理解させることができた。

教材教具名	百分率の学習	分類	Stage IV 認知	
		対象授業等 (内容) (学部)	数学	高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単なルール(公式)を利用して、問題を解く力を身につける。 ・ 日常生活に関する文章題を解き、学習内容を生活に反映させる。 			

教材教具の概要

百分率
* 暗記してください。

$$1 = 100\%$$

$$100\% = 1$$

【練習】

Q1. 200円のケーキが20%引です。いくらですか？

Q2. 600円のイヤホンが30%引です。いくらですか？

Q3. 2000円のマグロが40%OFFです。いくらですか？

Q4. 5000円のラフターが25%引です。いくらですか？

【百分率とは】

百分率とは、もとの量を100% (100マント) とする、割合の表し方。001を1%と表す。

百分率	1%	10%	90%
小数	0.01	0.1	0.9

例1 50%に引き引いてください。

百分率 0% 100%

小数 0 0.5 1

例2 20%に引き引いてください。

百分率 0% 100%

小数 0 0.5 1

使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公式は常に板書し、授業の冒頭で前回の振り返りをする。 ・ 自分のペースで取り組めるよう、授業内の到達目標を伝えてから問題を解かせる。
------	---

材料	・ 自作プリント
----	----------

工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章題においては、1ページあたりの問題数を少なくすることで、情報を少なくした。 ・ 「公式を使って問題を解く」ことに重点を置き、それにより得られる力を事前に子どもへ伝える。
-----	---

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 割り算や%に苦手意識が強い子どもも、公式の利用ということにねらいを置くことでスムーズに学習にとりかかれた。難しい場合は電卓の使用も認めている。
- ・ 日常生活において、%のだいたいの目安がたてられるようになった。例えば「黒板が○%埋まっている。」「残りの水分は○%だ。」など日常生活の中で子どもの発言がきかれた。